

【听译】 华鸟风月



呜呼 华のように鮮やかに さあ

呜呼 鸟のように優雅に

呜呼 风まかせも心地良い さあ

呜呼 月明かり照らされて

啊 像花那样鲜艳 飒

啊 像鸟那样优雅

啊 凭风拂面也很舒服 飒

啊 明月光辉照耀世间

正しさなんてもの
人の物指しによって変わる

この世界 不変あるとするならば

华鸟风月 厳かで美しいもの

所谓的正确与否
会根据人的判断而改变

这个世间 要说不变的事物 唯有

花鸟风月 这些庄严而美丽的事物

后悔をして 学び また歩もう

二度と过ち 繰り返さぬように

歴史とは 変わらぬ感情が

廻り廻って 伤つけて和解された

世界の成長

经历过后悔 学会教训 继续前行

不要让错误再一次重复发生

所谓的历史 也就是不变的感情

峰回路转 相互中伤又和解

也是世界的成长

正しさなんてもの
大人にも分からない幻想

この世界 不変あるとす
るならば
花鸟风月 穏やかで懐か
しきもの

所谓的正确与否
更多是连大人都无法理解的幻想

在这世间 要说不变的事物 唯有
花鸟风月 这些稳重而令人怀念的事物

汚れぬことが
正義なのだろうか？
过ちの中にあるけじめに

魅せられ知った 秽れを
恐れぬ愛も
正しさと言うこと

不同流合汚
就能算是正义了么？
一次次犯错中 寻找每次的区别

被魅惑后又知情 却还无惧于污点的爱
也能说是正确的吧

形無いからこそ
感じようと思える
それも 生けるものすべて
内側に持つ
花鸟风月 測れないから
意味がある
だからこそ 愛を彷徨う

正因为没有形状
所以才更想去感受到
这一点也 让它存在的原因全都是发自内心
花鸟风月 因为无法测量
所以才有意义
正因如此 才会在爱中彷徨

悲しめる心も	让人悲伤的心也
怒れるやささえも	就连让人愤怒的温柔也
きっと 生けるものすべ	一定是 让它存在的原因
て内側に持つ	全都是发自内心
花鸟风月 何処までも美	花鸟风月 无论何处 都
しくなれ	美丽动人
いつまでも美しくあれ	无论何时 都美丽动人

《花鸟风月》，算是比较著名的东方改编曲了，因为作为《幻想万华镜》的片头片尾曲，配上了动画的片段，算是对整个东方正作故事中描绘事物的总结。就像我第一篇翻译的歌词《童游》因为是对神主ZUN自己的主题曲《童祭》的重新谱词而有了总起的性质，这篇《花鸟风月》也因为用在《幻想万华镜》而有了总结的性质。

あゝ	はな	あざ		
呜呼	华	のように	鲜やかに	さあ
あゝ	とり	ゆうが		
呜呼	鸟	のように	优雅に	
あゝ	かぜ	こころ	よい	
呜呼	风	まかせも	心地良い	さあ
あゝ	つき	あ	て	
呜呼	月	明かり	照らされて	

ただ
正しさなんてもの
ひとものさか
人の物指しによって変わる

この^{せかい}世界 不^{ふへん}変 あるとするならば
かちょうふうげつ おごそ うつく
华鸟风月 厳 かで 美 しいもの

こうかい 後悔 をして まな 学 び また あゆ 歩 もう
に ど あやま く かえ
二度 と 過 ち 繰 り 返 さぬように
れきし か かんじょう
歴史 とは 変 わらぬ 感情 が
めぐ めぐ きず わかい
廻 り 廻 っ て 傷 つけて 和 解 された
せかい せいちょう
世界 の 成 長

ただ
正 しさなんてもの
おとな わ げんそう
大人 にも 分 からない 幻 想
せかい ふへん
この 世界 不 変 あるとするならば
かちょうふうげつ おだ なつ
华鸟风月 穏 やかで 懐 かしきもの

けが
汚 れぬことが
せいぎ
正 義 なのだろうか？
あやま なか
過 ち の 中 にある け じめ に
み し けが おそ あい
魅 せられ 知 った 穢 れを 恐 れぬ 愛 も
ただ い
正 しさと 言 う こと

かたち な

形 无 いからこそ

かん

おも

感 じようと 思 える

それも 生 けるものすべて 内側 に 持 つ

かちょうふうげつ

はか

いみ

华鸟风月 測 れないから 意味 がある

だからこそ 愛 を 彷徨 う

かな

こころ

悲 しめる 心 も

おこ

やさ

怒 れる 优 しささえも

きっと 生 けるものすべて 内側 に 持 つ

かちょうふうげつ

どこ

うつく

华鸟风月 何処 までも 美 しくなれ

いつまでも 美 しくあれ



巡って廻って (Pixiv 72616493)